

9月市議会が始まります

市民の声を届けてくらし・福祉を
大切にする市政に変えるため頑張ります

9月1日に川口市議会9月定例会が開会します。
一般質問では日本共産党から板橋ひろみ議員、ふじしまともこ議員がみなさんから寄せられた声を市営に届け実現に向け頑張ります。
ぜひ傍聴にお出かけください。
また9月市議会では、市長提出議案として一般会計補正予算に3億2264万円を追加計上、特別会計では国民健康保険、介護保険の各特別会計補正予算が計上される予算案です。あわせて一般議案では、川口市の放課後児童クラブ（学童保育）の土曜日の開室時間を現在の8時30分から8時に改める条例改正案や、小中学校のGIGA端末の購入などが議会で提案され審議される予定です。

9月市議会日程

9月1日(火)	開会
10日(木)	一般質問
11日(金)	一般質問 ◎午前10時から 板橋ひろみ議員が一般質問を行います
14日(月)	一般質問 ◎午後3時から ふじしまともこ議員が一般質問を行います
15日(火)	一般質問
16日(水)	一般質問
18日(金)	常任委員会（環境経済文教・建設消防）
24日(木)	常任委員会（総務・福祉保健）
29日(火)	閉会議会は午前10時からです。

本会議はインターネット中継も行っています。川口市議会ホームページからご視聴ください。



金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

2026年8月30日 No.1850
日本共産党川口市議会議員団
川口市前川 2-28-10
TEL.267-8411 FAX.261-3528
<https://www.kawaguchi-jcp.jp/>



知っ得情報

8月22日のゲリラ豪雨、23日に発生した震度5弱の地震により被害にあわれた皆様に心からお見舞い申し上げます。

被災された皆様への川口市の支援等についてお知らせいたします。

【罹災証明書・罹災届出証明書の発行について】

災害によって被害を受けた場合に市で交付する証明書には、「罹災証明書」と「罹災届出証明書」の2つの種類があります。発行に必要な期間や使用用途が異なりますので、事前に保険会社などにご確認ください。

- 罹災証明の発行
家屋の物件の全壊、半壊、一部破損、床上浸水、床下浸水などの場合
担当：川口市市民課（代表：048-258-1110）、各支所、各行政センター
- 罹災届出証明書の発行
罹災証明書の欄に記載されていない被害、保険会社への申請などの場合
担当：川口市危機管理課（048-242-6358）

【見舞金の交付について】

担当：川口市福祉総務課（048-259-7647）
被害の判定は、川口市役所の被害調査に基づき行います。

住家の全部の焼失又は損壊 100,000円
住家の3分の1以上の焼失又は損壊及び床上浸水並びに水損 50,000円
死亡 50,000円
重傷 20,000円
軽傷 10,000円

【災害で発生したごみの処分について】

担当：川口市資源循環課（048-228-5370）



戸塚環境センターの 粗大ごみ処理施設を視察

火災対応にセンサーと 初期消火装置を設置

地域活性化・生活環境向上
特別委員会(金子幸弘)

8月19日、川口市議会の地域活性化・生活環境向上特別委員会が開催され、戸塚環境センターの粗大ごみ処理施設を視察しました。

川口市においても、リチウムイオン電池のごみへの混在により朝日環境センターにおいて火災が発生し、しばらく受け入れがストップし、他自治体にごみ処理を委託するという事態が発生しました。また施設の復旧や他自治体へのごみの委託、新たな火災対応の設備などに多額の費用がかかりました。リチウムイオン電池は大変便利なものですが衝撃が加わると点火してしまうケースがあります。

川口市では市役所などに回収ボックスを設置するなど再発防止に取り組んでいます。それとともに、火災のあった朝日環境センターにおいても初期消火のシステムを強化するなど対策が取られました。

戸塚環境センターは現在、大規模改修中ですが、完成した粗大ごみ処理施設においても火災、爆発に備えて、処理工程にいくつものセンサーや初期消火装置を設置してあります。

ごみ焼却施設は維持・更新に多額の費用が掛かります。より長く使えるようにするうえでも分別の徹底や火災、爆発へを防ぐ手立てをとることが大切となっています。



避難所環境整備用資機材 の現地視察

都市基盤整備・危機管理対策特別委員会(板橋ひろみ)

8月20日に都市基盤整備・危機管理対策特別委員会が開かれ、本町小学校体育館にて避難所環境整備用資機材の視察もしましたので以下ご報告します。

①大型テントを組み立てて設置する集合型の仮設(女性専用)トイレは、7つの個室と便器が設置されます。うち、1か所は介助者とともに車椅子のままでも入れる広い個室となっています。携帯トイレと組み合わせて使います。一次避難所87カ所に一基ずつ整備しています。

②非常用ろ過浄水器はプールの水など手動式のポンプでろ過し、生活用水をつくります。一次避難所87カ所に一基ずつ整備しています。

③簡易ベッドは簡単に設置できる折りたたみ式のベッドです。段ボールベッドとひかくして湿気や日差しに強い・軽量で持ち運びが容易・繰り返し使える・立ち上がりやすいなど健康予防につながる点が利点です。一次避難所87カ所に一基ずつ整備し、ほか1か所で集中管理・備蓄しています。

④パーテンションはワンタッチで設置できるナイロン製の間仕切りです。一次避難所87カ所に16張とほか複数個所で集中管理・備蓄しています。写真は簡易ベッドを入れた状態です。

